

令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果について

4月18日に全国の小学6年生を対象に行われました「全国学力・学習状況調査」の本校の傾向についてお知らせいたします。

【国語】

分類	区分	平均正答率(%)		
		中尾小学校	神奈川県(公立)	全国(公立)
全体		70	66	67.2
評価の観点	知識・技能	71.7	68.5	68.9
	思考・判断・表現	67.6	64.0	65.5
問題形式	選択式	78.5	73.4	73.6
	短答式	64.3	61.2	62.7
	記述式	46.9	48.2	51.1

全体的に見ても、観点別にみても、県や全国の平均値と変わらないか、やや上回る正答率となりました。しかし、記述式の問題については、平均よりも正答率が低い結果となっています。

【算数】

分類	区分	平均正答率(%)		
		中尾小学校	神奈川県(公立)	全国(公立)
全体		68	63	62.5
評価の観点	知識・技能	72.8	67.8	67.2
	思考・判断・表現	62.4	57.2	56.5
問題形式	選択式	63.7	59.2	57.7
	短答式	79.3	74.8	74.7
	記述式	54.6	47.8	47.3

全体的に見ても、観点別にみても、県や全国の平均値を上回る正答率となりました。

算数の問題で、唯一正答率が全国平均を下回った問題が右の問題です。折りたたんだ紙をひろげたときに正三角形にするための角度について考える問題です。正三角形の特徴を理解していることと、実際にできる図形をイメージする力が求められる問題です。紙面上の問題だけに取り組むのではなく、実際に手を使って操作する学習を取り入れていく必要性を感じました。今後の授業改善に生かしていきます。

(3) えいたさんたちは、下のようにつくり方で三角形をつくります。

【えいたさんのつくり方】

① 下の図のように、テープを折って、下の直線が重なるようにします。



② 右の図のように、折り目はしを点ケとします。



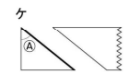
③ 折って重ねたまま、点ケを通るななめの直線で切ります。



④ 開くと三角形ができました。

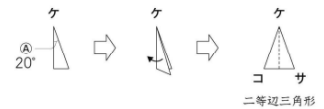


ゆいなさんとわたるさんは、【えいたさんのつくり方】の③の図で、下の④の角の大きさをそれぞれちがう大きさにしました。



ゆいな

私は、④の角の大きさを20°にしました。切って開いた三角形ケコサは、二等辺三角形になりました。



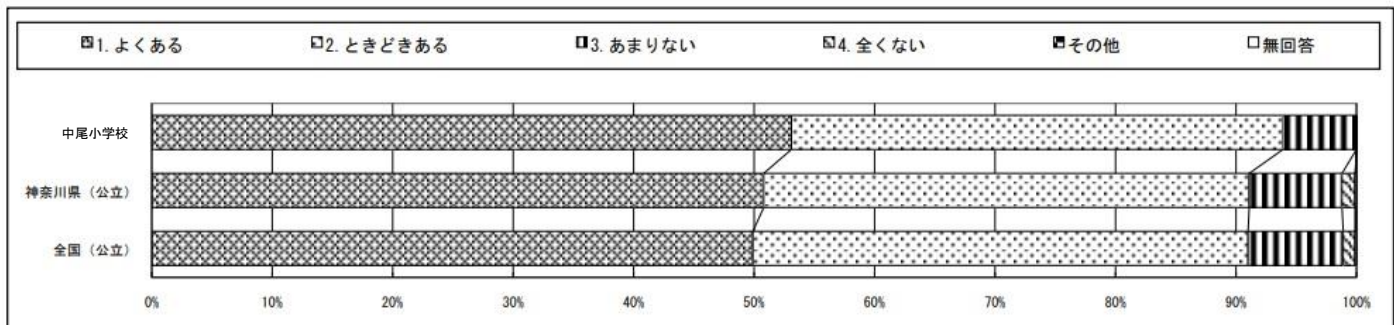
わたる

私は、切って開いた三角形を正三角形にするために、④の角の大きさをゆいさんとちがう大きさにして切りました。

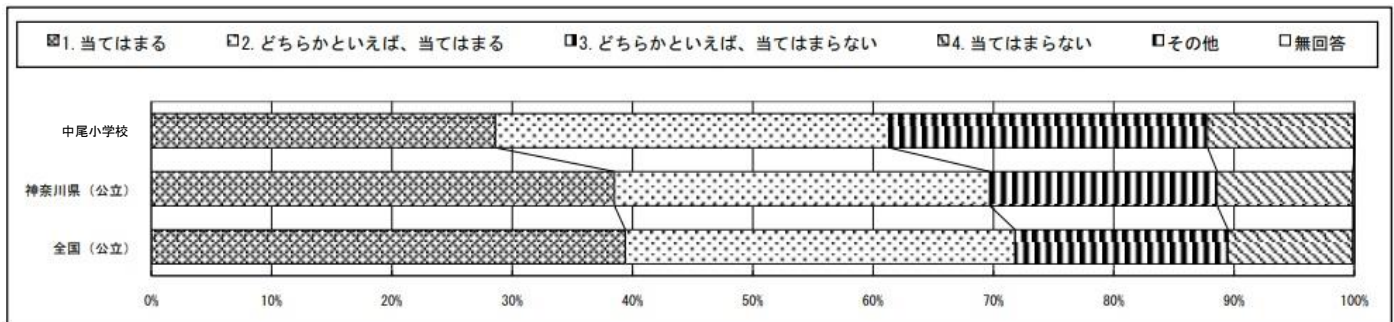
切って開いた三角形を正三角形にするには、④の角の大きさを何度にするればよいですか。

答えを書きましょう。

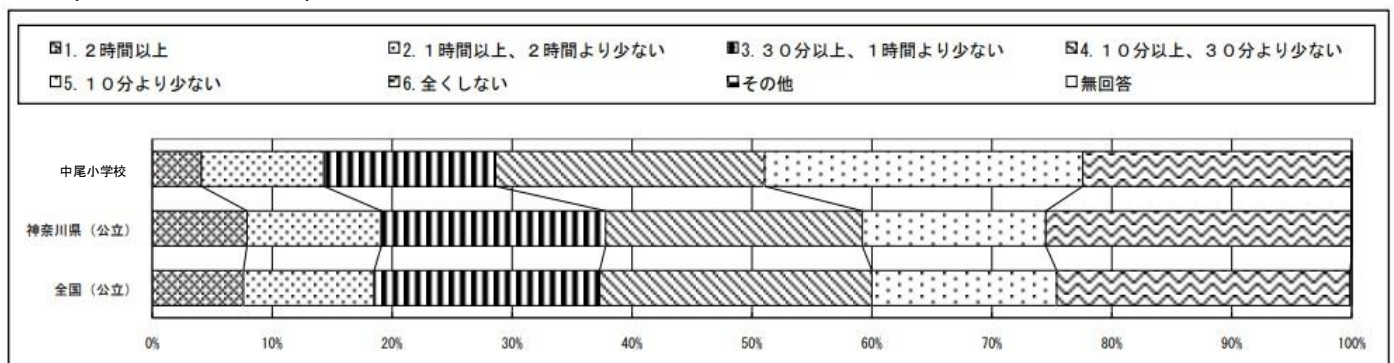
A(普段の生活の中で幸福感を感じる)



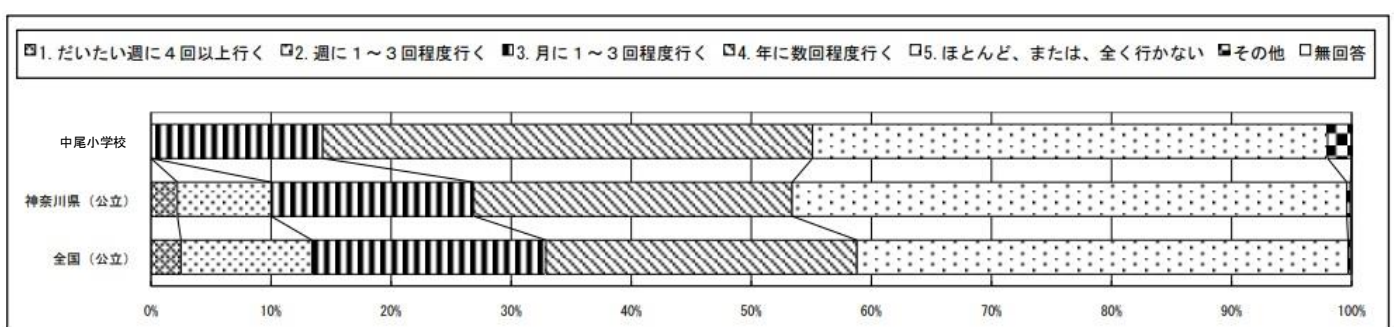
B-1 (読書が好き)



B-2 (平日平均読書時間)



B-3 (図書館利用状況)



児童質問の集計結果から、家庭での基本的な生活状況（起床や就寝、食事など）、通塾状況、ICT 機器利用状況などについては、全国平均と大きく差はありませんでした。差があった項目の一つに、A のグラフに示されている幸福感に関わる項目が挙げられます。家庭での幸福感を感じる事が多いということは、児童が安心して成長できる地域・家庭環境にあるということです。これは学校でも、子どもたちの表情や会話・様子、提出物や課題の状況や面談等で保護者の方とお話する中でも、家族関係が良好な家庭が多いと感じられることがあります。心の安心が、しっかりと学習にも取り組める状況を作っているのではないかと考えられます。

また、B の「読書」に関連する項目の結果に、大きな特徴があることが分かりました。上記の3つの質問項目の結果から、本校の6年生は、読書に親しむ時間が少ないことが分かります。国語の記述式の問題の平均正答率が低くなった理由もここにあるかもしれません。学校でも読書に親しむ機会を増やし、良い文章表現にふれ、文章を書く活動につなげていけるように学習計画を立てていきます。